

新事業所長挨拶

みなさま、ご安全に。

本年1月1日付で着任いたしました渡辺です。私は入社以来33年間のほとんどを九州は大分の事業所で勤務し、ここ東長原は初めての赴任地となります。豪雪地帯と言われる会津での生活では、寒さと積雪を覚悟しておりましたが、暖冬の影響でしょうか今年は極端に積雪が少なく幸か不幸か、雪で苦労することのない1年目となりそうです。

また、地域の皆様との交流においても何ら制限なく、その機会を取り戻すことができたことに大変感謝している次第です。

今年は新生レゾナックとして2年目、世界トップクラスの機能性化学メーカーへの変革を目指す中、東長原事業所は技術力と独自性を有する製品群の製造拠点として存在感を発揮し、安全で安定した、安心できる事業所を目指し、全員一丸となって努めて参存ですので、皆さまのご協力を何卒お願い申し上げます。



東長原事業所長 渡辺 恭一

近隣地区新年交歓会

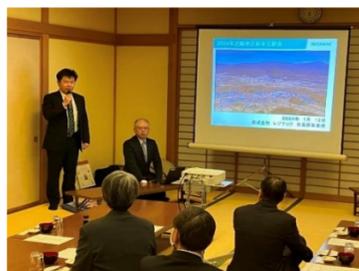
近隣地区新年交歓会を1月12日にクラブハウスにて開催しました。

東長原事業所では、事業所の活動をご理解いただく取り組みとして、近隣8地区役員の皆さま並びに地元選出の市議会議員をお招きし、事業所説明会と意見交換会を兼ねた新年交歓会を毎年開催しております。

当日は、レゾナックグループ並びに東長原事業所概要及び昨年のトピックス、CSR活動への取り組みなどをご説明しました。参加された地区役員の方々からは、今後も地元から継続的に採用をして欲しいというお言葉がありました。

事業所説明の後には、4年ぶりに飲食を含めた意見交換会を開催しました。今年から着任された渡辺事業所長はじめ全経営職層も参加し、久しぶりに対面でのコミュニケーションができた事で双方の理解が深まり、和やかな雰囲気の中新年交歓会は終了しました。

今後も地域の方々とのコミュニケーションをより充実させ、地域貢献を持続していきます。



渡辺事業所長挨拶



吉田市議会議員ご挨拶



新年交歓会の様子

秋季防災訓練



非常対策本部



正門前入場制限



訓練終了後の訓話

東長原事業所では緊急事態が発生した場合に備え、事業所内で働く各企業と合同で総合防災訓練を年2回実施しており、秋の総合防災訓練では、地震発生時の火災及び負傷者発生を想定した訓練を行っています。10月19日に実施した訓練は、東長原事業所だけでなく、事業所内に立地する場内企業3社、常駐協力企業7社に加えて、会津若松消防署十文字出張所にも協力して頂き合同で訓練を行いました。

訓練後のミーティングでは、板書の記載方法やI P無線機の音量など課題がでた一方で、今年の春季総合防災訓練で課題とされた構内放送とI P無線機の重複による聞き取り難さが改善されたなどの成果も得ました。また、訓練終了後には会津若松消防署十文字出張所の戸田所長より「災害発生時は思うように身体が動かないので落ち着いて安全に行動できるよう訓練の場で慣れておくべき」との事と、「着実に練度があがってきているので、今後も訓練を継続して関係機関と一体となって災害に備えてください」と激励のお言葉をいただきました。これからも継続して訓練を実施する事で課題を改善し、レベルアップを図り、ご来場いただく全ての人に安心していただける事業所を目指して安全活動を続けていきます。

会津学鳳高校見学会

9月6日に会津学鳳高校1年生の見学会を開催しました。

会津学鳳高校は文部科学省支援事業のスーパーサイエンスハイスクール(以下SSH)指定校で、今回の見学会はSSHの取組みの「地域探求」の一環として行われたものです。製造から出荷までの一連の流れを見学したいという学校からのリクエストに応え、IC課の製品がプラントでどのような工程を経て製造されているかを説明し、その後品質保証グループの検査をとお客様に出荷されるまでを見学してもらいました。生徒からは「装置の金額はどのくらいですか?」「分析にはどのくらいの時間がかかりますか?」などの質問が出ていました。

今回初めて普通高校の生徒を受け入れての見学会となりましたが、参加した生徒の皆さんにはとても興味を持ってもらえたようです。

今後も幅広く見学会の受け入れを行い、レゾナックという会社や事業に関心を持っていただくとともに将来的な採用につながるよう取り組みを続けていきます。



IC課プラント見学



品質保証G見学